

4歳時資格終了通知

日付：

クライアント氏名・住所

代理人氏名・住所

件名：4歳時資格終了通知

あなたのお子さんは現在、Developmental Disabilities Administration (DDA) のクライアントです。お子さんがDDAの支援を受けられる資格は4歳の誕生日に終了します。お子さんが引き続きDDAの支援を受けられる資格を維持するには、4歳になる前に再申請する必要があります。知的障害、脳性まひ、てんかん、自閉症、知的障害に類似の神経学的その他の症状のいずれかで資格の再認定を受けることが必要です。

再認定を受けるのに必要なものを記載した必要書類一覧を添付しましたのでご覧ください。

再申請の方法

お子さんの4歳の誕生日の90日前までにDDA受け入れ・資格担当職員に連絡して、再申請書類一式を請求してください。書面でも、以下の電話番号に電話しても請求できます。再申請書類一式は郵便でお送りします。再申請書類はオンラインで入手することもできます。<https://www.dshs.wa.gov/dda/consumers-and-families/eligibility> をご覧ください。

再申請をしなかった場合

再申請書類一式を請求しなかった場合、または再申請書類をお子さんの4歳の誕生日の60日前までに返送しなかった場合、DDAの支援を受ける資格はその誕生日で終了します。お子さんがDDAを通じて助成サービスを受けている場合、そのサービスは4歳の誕生日で終了します。

DDA資格が終了しても、Special Educationプログラムへの参加やSSI受給資格には影響しません。また、Medicaid、TANF、フードスタンプなど、DSHSのその他のサービスを受けている場合も影響はありません。

回答は、お子さんの4歳の誕生日の90日前までに、できるだけ早めをお願いいたします。ご連絡がない場合、お子さんのDDA資格を継続することを希望されないと判断いたします。支援を受ける資格がある症状を証明する適切な書類が4歳までに提出されなかった場合、お子さんのDDA資格とDDAサービスは4歳の誕生日で終了します。

質問がある場合や書類一式を請求する場合は、以下にお問い合わせください。

氏名

電話番号

メールアドレス

資格に関する州の規則の写しはご要望に応じてお送りします。または、オンライン (<https://www.dshs.wa.gov/dda/consumers-and-families/eligibility>) で入手できます。

cc: クライアントファイル

必要書類一覧

障害の症状	年齢	診断	診断医	その他の記録
発達遅延	4歳～9歳	発達遅延	発達アセスメントまたは発達評価を実施する資格を持つ専門職	4歳～9歳 – 平均より1.5標準偏差下の3つ以上の遅延、または過去12カ月間の最新の評価に基づき実年齢の25%。
知的障害	4歳以上	知的障害	免許を保有する心理士、ワシントン州認定学校心理士、または全米学校心理士協会認定のその他の学校心理士	過去36か月に行われた、平均より2標準偏差を下回る全検査IQ点数と、平均より2を超えて標準偏差を下回る適応機能検査点数を含む、完全な心理報告書。
脳性まひ	4歳以上	脳性まひ 四肢まひ 片まひ 両まひ	免許を保有する医師	3歳前の発症と、2つ以上の分野（排泄、入浴、食事、着衣、移動、またはコミュニケーション）で毎日直接的な身体的補助が必要であることを裏付ける情報。
てんかん	4歳以上	てんかん または発作性疾患	認定神経科医	病歴と神経学的検査に基づく診断、発作が抑制できず進行中であるか再発性であることを確定する医師または神経科医の診断、および適応機能が平均より2を超えて標準偏差を下回り、大きく制限されていることを示す適応機能検査結果。
自閉症 (DSM-IV-TRによる)	4歳以上	DSM-IV-TRの自閉症または自閉症障害 (299.00)	自閉症センター、発達障害センターまたはセンター・オブ・エクセレンスと関係している、免許を保有する心理士、免許を保有する医師または ARNP、または認定された神経科医、精神科医、または発達・行動小児科医	DSM-IV-TRに基づく完全な評価において診断基準をすべて満たしている、社会的スキル、言語スキル、コミュニケーションスキル、または象徴的・想像的遊びにおいて5歳前に遅延または機能異常が見られた証拠がある、および適応機能検査で適応機能が平均より2を超えて標準偏差を下回り、大きく制限されていることを示す情報。
自閉症スペクトラム障害 (DSM-5による)	4歳以上	DSM-5の自閉症スペクトラム障害 (299.00)	自閉症センター、発達障害センターまたはセンター・オブ・エクセレンスと関係している、免許を保有する心理士、免許を保有する医師または ARNP、または認定された神経科医、精神科医、発達・行動小児科医	DSM-Vに基づく完全な評価において診断基準をすべて満たしている、5歳前に遅延または機能異常が見られた証拠がある、適応機能検査で適応機能が平均より2を超えて標準偏差を下回り、FSIQが平均より1標準偏差を下回り、大きく制限されていることを示す情報。
知的障害に類似の神経学的その他の症状	4歳以上	知的機能および適応機能の欠陥の原因となることが判明している神経または染色体異常	免許を保有する医師	過去36か月間に行われた、平均より1.5を超えて標準偏差を下回る全検査IQ点数と、適応機能検査で適応機能が平均より2を超えて標準偏差を下回り、大きく制限されていることを示す情報。

注記： この表はあくまでも一般的な指針であり、DDAは追加の情報または評価を求めることがあります。本書は資格を判断するための第1段階です。DDA資格はWAC第388-823章に基づいて決定されます。